

西 彼 保 健 所 感 染 症 情 報

令和8年 第 33 週 令和8年8月10日 ~ 令和8年8月16日

全数把握対象感染症 発生状況

※西彼保健所感染症情報の全数報告数は報告の週で掲載しています
(県感染症情報速報は診断の週で掲載していますので数が一致しない場合があります)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第33週】 水痘（入院例に限る）1名（10代・女性）

定点把握の対象となる5類感染症発生状況（定点医療機関当たり患者数）↑;前週より増加↑↑;2週連続増加↑↑↑;急増

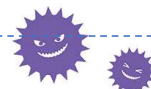
疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル	注意 報レ ベル					警報レベル	注意 報レ ベル	
	32 週	33 週	開始	終息			32 週	33 週	開始	終息	
インフルエンザ	0.2 ↑	0.0	30	10	10	突発性発しん	0.00	0.00			
COVID-19	1.60	0.20				ヘルパンギーナ	0.67 ↑	0.33	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	71.6 ↑↑	34.6				流行性耳下腺炎	0.00	0.00	6	2	3
R S ウイルス感染症	1.00 ↑	1.33 ↑↑				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	1.67 ↑	0.00	3	1		流行性角結膜炎	6.00 ↑↑	3.00	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.67 ↑	1.33	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	7.00 ↑↑	1.33	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	0.33 ↑	0.67 ↑↑	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	1.00	1.00			
手足口病	1.33	1.00	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.00	0.00	2	1		感染性胃腸炎 （ロタウイルス）	0.00	0.00			

トピックス・季節情報

※第33週のデータは、定点医療機関のお盆休みの期間が含まれています

急性呼吸器感染症(RSウイルス感染症)に注意しましょう

- RSウイルス感染症は、乳幼児に多く認められる急性呼吸器感染症です。一度かかっても、また感染することがあります。
- 感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品等を介した接触感染が主なものです。特に、家族内では、RSウイルスが伝播しやすいので適切な感染予防策を講じることが重要です。
- 飛沫感染対策としてのマスク着用や咳エチケット、接触感染対策としての手洗いや手指衛生といった基本的な対策を徹底してください。



水痘(みずぼうそう)に注意しましょう

水痘ウイルスは通常気道粘膜から侵入し、鼻咽頭の侵入部位と所属リンパ節にて増殖した後、ウイルス血症を起こし、皮膚に水疱を形成します。水痘は空気感染、飛沫感染、接触感染によって伝播しますので、その予防は感染源の人と接触をさけることが重要です。

- 罹患年齢：ほとんどが9歳以下 ※成人が罹患するとその多くは小児より重症となります。特に妊娠初期から中期では胎児に影響がある可能性もあり注意が必要です。
- 潜伏期間：2週間程度(10～21日)
- 予防接種：弱毒化生ワクチン(定期予防接種対象)
1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられています。また、水痘患者に接触した場合でも、3日以内にワクチンを接種すれば80%～90%発病を予防でき、家族内感染の予防や施設内感染の防止に有効とされています。また、発症した場合でも症状の軽減化が期待できます。

